



一般社団法人日本物流団体連合会
Japan Association for Logistics and Transport

3-3-3 Kasumigaseki, Chiyoda-ku,
Tokyo, 100-0013 Japan
TEL: +81-3-3593-0139
FAX: +81-3-3593-0138
URL: www.butsuryu.or.jp

News Release

令和 5 年 12 月 25 日

令和 5 年度第 3 回「海外物流戦略ワーキングチーム会合」を開催 ーベトナムにおけるメコン地域との物流連結性に見る現状と課題に関する講演会を実施しましたー

(一社)日本物流団体連合会は、12 月 22 日(金)、令和 5 年度第 3 回「海外物流戦略ワーキングチーム会合」を千代田区の全日通霞が関ビルで開催しました。この会合は、物流事業の海外展開に関する課題を官民連携で検討するもので、会員企業や国土交通省から 40 名が参加しました(内 18 名が Web 参加)。

令和 5 年度のワーキングチームでは、物流業界のグローバル化を進める上で重要な「ベトナムの物流事情」について調査を行っています。

第一部の講演会では、熊本学園大学商学部長の伊津野^{いづののりひろ}範博氏を講師としてお招きし、「ベトナムにおけるメコン地域との物流連結性に見る現状と課題」と題しご講演いただきました。講演会にはワーキングチームメンバー以外も多数聴講いただき、Web 参加を含めて合計 84 名が参加しました。

講演は、メコン地域の基礎情報、越境交通の現状と課題、今後の検討課題について説明されました。はじめに、メコン地域を取り巻く環境変化について、インドシナ半島の経済成長に伴う貿易活性化によって、連結性が強化されている事を紹介されました。続いて、越境交通インフラ整備や経済回廊について資料を用いて詳しく説明をされました。併せて越境手続きに関する諸制度の現状にも触れられました。

最後に陸路輸送へのシフトが進むうえで、それに応じた制度設計が必要であることが今後の検討課題であると締めくくり、講演は終了しました。

第二部のワーキングチーム会合では、国土交通省物流・自動車局 国際物流室長の鈴木淳氏から「最近の国土交通省の国際物流政策の取り組みについて」説明がありました。今回は、日中韓物流大臣会合にテーマを絞り、取り組みの状況を報告いただきました。

その後、事務局からベトナム物流事情実態調査の報告があり、報告書完成にむけた計画について確認を行いました。最後に事務連絡を行い、会合は終了しました。

【講演された熊本学園大学 伊津野範博氏】



【最近の取組を発表される国土交通省 鈴木淳氏】



【会合が開催された全日通霞が関ビル】



以上
事務局 嶋